

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-02 □支援部門		民生委員児童委員活動推進事業				
主管課	福祉政策課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	民生委員児童委員活動が推進されるよう支援していく。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	39,011千円	36,643千円	36,172千円			
	(国・県)	14,084千円	13,904千円	15,053千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	24,927千円	22,739千円	21,119千円			
	人員配置数	0.9人	0.9人	0.6人			
	人件費(千円)	8,076千円	8,328千円	5,516千円			
	協働のパートナー	無	無	無			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	47,087千円	44,971千円	41,688千円			
	市民1人当りの経費(円)	266円	254円	236円			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
民生委員児童委員活動推進事業	39,011千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援する。地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会を支援する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	民生委員児童委員の欠員を補充する。			
課題解決のための取組	平成22年12月1日の一斉改選に向けて、早期に準備を進めることに取り組み、現職の民生委員児童委員の意向確認や、自治会・町内会長に対して、民生委員児童委員候補者内申に向けた協力を求め、その結果、欠員は1名になった。			
未解決の課題	民生委員児童委員の欠員を補充する。			
今後の方針	引き続き自治会・町内会に対して、民生委員児童委員候補者の内申に向けた協力を求めていく。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長名 福祉政策課長 鈴木 善博

